

■坂本繁二郎 洋画家。青木繁と同郷・同期ながら、対称的な長い生涯を、中央画壇から離れて制作し続けた。

さかもとはんじろう

新体詩抄・・1882＝ 福岡県久留米で、旧久留米藩士の次男に生まれる。

内閣発足・・1885＝ 3歳：父が死去。

帝国憲法発布1889＝ 7歳：

足尾鉋毒始・1891＝ 9歳：青木繁と同級になり、ともに、地元の洋画家森三美に、絵を習い始め、

日清戦争始・1894＝12歳：

高等小学校を卒業後、兄が三高に進学して家計が厳しかったため、進学を諦め、

白馬会・・・1896＝14歳：

引き続き、森のもとで作画に励み、

日清戦争終結・1900＝18歳：森の後任指名で、母校の小学校の図画代用教員となる。

教科書疑獄・1902＝20歳：帰郷した青木の画技の上達に驚いて、青木とともに上京、{不同舎}に学び、

日露戦争始・1904＝22歳：続いて、{太平洋画会研究所}に学ぶ。

日露戦争終・1905＝23歳：

韓国反日暴動1907＝25歳：*東京府勸業博で「大島の一部」が3等。第1回文展に「北茂安村」が入賞。

伊藤博文暗殺1909＝27歳：

韓国併合・・1910＝28歳：文展で「張り物」が褒状。

大逆事件判決1911＝29歳：青木が死去。文展で「海岸」が3等。

明治天皇没・1912＝30歳：文展に出品した「うすれ日」を漱石が感嘆。

第一次大戦始1914＝32歳：二科会の創立に参加、

本格政党内閣1918＝36歳：

原敬首相暗殺1921＝39歳：フランスに留学、シャルル・ゲランに師事、
中間色による独特の色調はこの留学で身につけた。

関東大震災・1923＝41歳：*傑作「フルターニュ」を生む。

護憲三派圧勝1924＝42歳：*帰国。以後、没するまで九州にあって、

治安維持法・1925＝43歳：二科展に滞欧作を特陳して高い評価。

円本時代始・1926＝44歳：馬のシリーズを制作開始。

金融恐慌・・1927＝45歳：「放水路の雲」。

満州事変・・1931＝49歳：友人の支援で、久留米近くの八女にアトリエを建て、引き籠って制作に専念、

五一五事件・1932＝50歳：「放牧三馬」はじめ的確な描写、

牧場の馬や牛、あるいは果実や野菜、箱、能面などを主題とした作品を描き、

二二六事件・1936＝54歳：

日中戦争始・1937＝55歳：「水より上る馬」。

日米開戦・・1941＝59歳：

・・・・・1942＝60歳：二科展で、還暦記念特別陳列、未発表だった「母の像」も公開される。

創価学会検挙1943＝61歳：無所属となり、

敗戦・・・・1945＝63歳：

独立回復・・1951＝69歳：

TV放送始・・1953＝71歳：この頃から能面シリーズを良くした。

自衛隊発足・1954＝72歳：毎日美術賞。

国連加盟・・1956＝74歳：文化勲章。

安保闘争・・1960＝78歳：

TV宇宙中継始1963＝81歳：

*80をこえると月を描いた連作を発表、没するまで意欲的な制作活動を展開して、

全共闘ビーク・1969＝87歳：没した。

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、インターネット、